

西野中野山区画整理事業

本地区は、主要地方道新潟港・横越線の東側及び日本海東北自動車道に隣接する面積約16.5haの地区であり、流通業務・商業施設・住宅地としての土地利用、また環境に配慮した町づくりを目的として、平成23年度着工、平成26年度完了予定です。

「(仮称)新潟東スマートインターチェンジ」について

日本海東北自動車道と主要地方道新潟港横越線の交差部に、高速道路へのアクセス利便の向上、周辺道路の渋滞緩和、救急救命活動の支援、企業活動の効率化や周辺開発計画の支援を図ることを目的とした(仮称)新潟東スマートインターチェンジについて、平成27年度の供用を目標に、現在、東日本高速道路株式会社と新潟市が連携を図りながら事業を進めています。



大江山文化とスポーツの祭典

特別企画としては「Miyuki(みゆき)」さんによる歌謡ショーと、ピッコロ新潟による腹話術ショーを開催。ユーモアあふれる腹話術と、場内に響く力強い歌声が会場を盛り上げ、大盛況の内に幕を閉じました。



毎年恒例となりました第二十八回大江山地区文化とスポーツの祭典が、十一月三日に農村環境改善センターにて行われました。当日は保育園児によるお遊戯を始め、各サークルによるダンス・民謡などの芸能発表や書道、写真と様々な作品が多数展示されました。

第7回

大江山縄文市開催

十月十四日、大江山公園(笹山)を会場に「第七回大江山縄文市」が開催されました。笹山地区からは六五〇年前の縄文前期の深鉢型土器などが発掘調査で出土しました。この催しは、縄文時代をテーマに交流・体験しよう、今回で七回目の開催となります。

当日は、火おこし体験や勾玉づくり、縄文土器づくりなど様々な体験コーナーが催され、どのコーナーも賑わい大盛況でした。

また鮭の蒸し焼き、古代米の餅や縄文クッキーなども振る舞われ、長蛇の列ができるほど好評でした。秋晴れの一日、縄文人の雰囲気を感じながら、楽しんだり、食べたり、飲んだり、日ごろ体験できないことを、地域の太古の歴史を活かしたイベントを通して、多くの人たちが縄文時代の暮らしに思いをめぐらしながら楽しく過ごしました。



大江山地区のクリーン活動

桜並木クリーン作戦

去る三月十七日、大江山地域づくり推進委員会・大江山青少年育成協議会の共催による、桜並木クリーン作戦が行われました。

地元を始め、近隣からも桜の名所として親しまれているごぼりの桜並木沿いの清掃活動に、今年は約一六〇名程の参加をいただきました。

紙くず、空き缶、ペットボトルを始め、家電、鉄くずなど二トトラック約二台分のゴミが集められ、相変わらずマンナーの悪さに参加者の皆さん驚いていました。毎年続けていくことで、地元の意識も高まり、地域の環境美化に対する活動は年々活発になっていきます。



大江山地区一斉清掃

去る六月一日、亀田郷全域で一斉清掃を開催しました。大江山地域でも午前九時より開始。参加者は約三時間ほどビンや空き缶、雑誌などを拾い集めました。清掃中は用意したゴミ袋があつたという間になくなる奮闘ぶりを見せ、集められたゴミは四トントラック約三台分の埋め立て処分ゴミを始め、二十二本のタイヤや自転車、テレビや冷蔵庫など大量の粗大ゴミが回収され、あまりのゴミの多さに参加者は驚きを隠せない様子で、「この活動を続けてきれいな地域を取り戻していきたい。同時に不法投棄を無くす活動を、この地域みんなでき取り組んでいきたい」と話していました。これからも大江山地域が安心して生活できるよう環境保全の協力を呼びかけ、クリーンな農村環境を守るため、地域一体となって色々な方面の協力をえながら、ゴミの不法投棄防止と環境保全を推進して行きます。

